

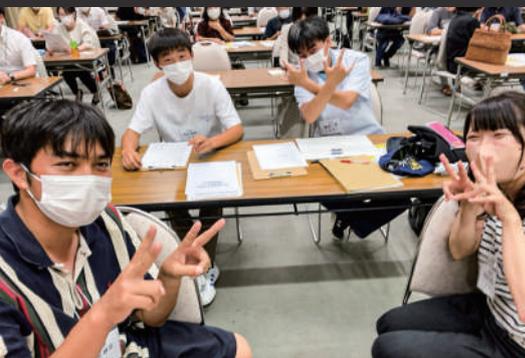


蒲郡若者議会

君の大好きな人のために！
キミのために！

未来の蒲郡へバトンをつなげ！！

第2期 報告書





蒲郡若者議会って何！？

蒲郡の未来を担う若い世代の多くは、普段の生活のなかで蒲郡やまちづくりについて学ぶ機会がなく、まちづくりに興味・関心があったとしても、その想いを話し合ったり、まちや行政に届ける手段がないのが現状です。そのため、蒲郡の政治や行政に関心が薄く、まちづくりに参画する必要性を実感することが難しくなっています。

蒲郡若者議会は、若者の目線で蒲郡をどのように良くしたいのかを考え、意見を出し合い、それを実行に移していく場があります！！

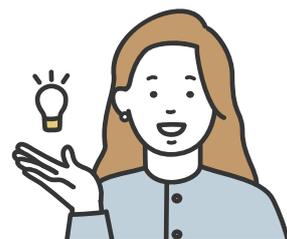
2022年度の第2期では、18名の高校生から29歳までの社会人が集まりました。また、第1期の蒲郡若者議会で活動した多くの議員がメンターとして残り、引き続きまちづくりに尽力しました。

そして地域に対して「将来的に不足が予測されるまちづくりの担い手の確保」「若者を応援するまちとして、市内で共通認識を持ち、市外にも知っていただくことで若者に選ばれるまちを目指す」などを目的として蒲郡青年会議所や行政職員をはじめとした、多くの市民にご協力をいただいで活動してまいりました。

第2期蒲郡若者議会議長挨拶

第2期蒲郡若者議会では、議員の大半を占めていた高校生が頼もしくなる姿を沢山見る事ができました。また、若者議会の活動を知り、関心を持ってくださる方が増えました。そして小中学校の授業にも波及するようになりました。協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。今回の政策案が少しでも形として残り、より良い蒲郡になって欲しいです。

「まちづくり」と聞くと敬遠したり、どこか他人事になってしまう人が多いと思います。若者議会は、普段とは違う場所で気軽に参加でき、生まれ育ったまちの魅力を再認識できる、やりがいのある活動です。場所があり、仲間がいるからこそ、1人ではできない事も叶えられます。ぜひ一緒に盛り上げていきましょう！



委員会紹介

観光委員会

観光委員会は、蒲郡の昭和レトロでどこか落ち着く街並みと近年のレトロブームを踏まえて「レトロで落ち着く、心のふるさと蒲郡」を掲げて活動してきました。ターゲットを若者に絞り、若者を集めるため、がまレトロの Instagram を開設しました。小委員会では若者はどのような投稿だと惹かれるのか、他の自治体を参考に話し合いを深めました。また、レトロな蒲郡をテーマとする「ガマゴオリ写真祭」を開催し、蒲郡のレトロな場所や食べ物を募り、レトロな蒲郡の認知度を高めることが出来ました。

(観光委員会 副委員長 村上凜良)



産業委員会は、理想の未来像「産業が盛んで人と人のつながりが巡る持続可能なまち」を実現させるため、蒲郡産業を知ってもらおうと話し合いを繰り返し行いました。特に蒲郡産業の中でも三河木綿にスポットを当てて、三河木綿紹介パネルや、機織り体験、三河木綿を使った小物作りなどを実施しました。事業体験者が2日で100人を越え、私の個人の目標でもある、「地元の皆さんに蒲郡産業を知ってもらおう」も達成できたと考えています。若者議会で1歩踏み出せた事を誇りに思います。

(産業委員会 副委員長 齋藤一稀)

産業委員会

環境委員会

環境委員会は、理想の未来像である「全人類が憧れるクリーンなまち蒲郡」を目指し、まずは、環境についての大切さや大変さから知ってもらうために「ガマエコチャレンジ～目指せ！全人類があこがれるまち！～」を政策案として提案しました。私達議員も実際に環境に関する事を伺ったり、異なる自治体にお聞きしたりする事で、環境について改めて学んだ事も多くありました。次第に議員の仲も良くなっていき、メリハリをつけながら、自分達らしく提案ができたと思っています。

(環境委員会 副委員長 毛利寿美怜)



蒲郡若者議会の流れ

1 説明会

蒲郡若者議会では、まちの魅力や課題点など考える上で「蒲郡を知ろうという気持ちを常に持つこと」、「大好きな人が蒲郡に住みやすいと思ってくれる未来像を思い浮かべること」の2点を心構えとして政策内容を検討することを説明しました。また、蒲郡市長と第1期蒲郡若者議会議長、副議長によるトークセッションを行い、第2期蒲郡若者議会に対してのエールを頂きました。



2 全体会議

全若者議員が集まる全体会議では政策検討を中心に計15回を実施しました。第2期では蒲郡市役所の職員の方も行政メンターとして加わっていただき、若者議員は市の現状を知りながら、若者の視点で蒲郡の理想の未来像に対して考案しました。また、政策検討の前には協賛企業主催、議論の効率を上げるためのアイスブレイクを実施し、企業と若者のつながりを作る機会を設けました。



3 中間報告会

説明会から4ヶ月、議長、副議長、委員会の配属が決まり、各テーマにおける蒲郡の理想の未来像を思い描き政策検討や全体会議で話がまとまらない時は、自主的に小委員会を開催して内容をまとめました。行政や政策内容に関係する方々をお呼びして初めて対外に向けて想いを発信し、政策内容の発表後は会場に集まった多くの方々と政策内容についての意見交流の場を設けました。



4 最終報告会

中間報告会で頂いた意見を参考に各委員会でアポイントを取り、自らの政策の方向性があるのか、市民にも求められているのかなど、自分たちの目で見て、自分の足を使って内容を精査してきました。最終報告会では、3委員会の半年以上かけて積み上げたその成果を熱意を持って発表し、政策内容を実際に実施する方法と事業内容の概要を観覧者へ説明しました。また、3つの政策を「政策要望書」として今井議長から市長へ直接提出しました。

各委員会政策内容

ホームページ 政策シート

<https://gamawakagikai.com/O1policy>



観光委員会

「レトロで落ち着く 心のふるさと蒲郡」

蒲郡市があまり知られていないと同世代からの意見が多く、発信が足りていないなどの課題を解決するため、観光スポットの広報強化や観光客増加に向けた SNS による魅力発信を強化し、特にレトロなまち蒲郡を地元の魅力として再発見してもらうことを発表しました。



産業委員会

「産業が盛んで人と人の つながりが巡る持続可能なまち」

蒲郡市の地元産業を知らない市民、若者が多いなどの課題を解決するため、世代を越えて様々な地元産業の魅力を伝えることで、地産地消につながることや蒲郡の魅力ある産業を知ることによって蒲郡に誇りが持てることを発表しました。



環境委員会

「全人類が憧れる クリーンなまち 蒲郡」

人が集まる場所でのごみが目立つことや蒲郡の環境についてのアピールポイントがないことなどの課題を解決するため、環境問題に対する意欲を上げ、行動に移す市民を増やし、蒲郡市を環境について取り組んでいる市としてアピールしたいと発表しました。



最終報告会総評

市民の方に政策を発表し、感想をいただける非常に貴重な機会でした。蒲郡若者議会の3委員会で考えた政策を自分の予想より多くの老若男女を問わない蒲郡市民の方が聴きにきてくださっていて驚きました。約半年間で考えてきた政策や事業を発表し、これに対する市民の方の声を聴くことができたことは、企画実施に対して大きな糧となりました。自分たちの思いをしっかりと政策や事業と共に伝えることができ、他の委員会の方々もそうだったと思えるような最終報告会だったと思います。

5 事業実施

最終報告会で発表した事業内容をより具体化し、政策実現の第一歩となる企画を第10回全国ご当地うどんサミット2022 in 蒲郡にて2日間に亘り実施しました。第2期の活動としては最後の大きな活動となり、どの委員会も成功させるために何度も打ち合わせを重ねて当日を迎えました。当日は企画内容と自分たちの思いを熱く語る姿や雨の中でも傘をさしてチラシ配りをする姿、来場者に声をかけてアンケートを取る姿が見られました。

観光委員会

「ガマゴオリ写真祭」

「レトロな蒲郡」フォトコンテストを開催し、企画実施日当日にはフォトコンテストの作品を目にもらい、蒲郡の落ち着いた雰囲気を感じていただきました。また、フォトプロップスを作っていただきそれを持った写真を撮影しInstagramへのフォローをお願いしました。



産業委員会

「ガマワークフェス」

三河木綿といった蒲郡の地元名産を使った機織り体験やクラフト体験をしていただき、三河木綿への関心を高めてもらいました。また、来場者に三河木綿や蒲郡の好きな名産物について調査し、地元名産の認知度アンケートを実施しました。



環境委員会

「ガマエコポイント」

市民が行なったエコ活動に応じてポイントを配布し、ポイントと景品を交換出来るシステムを導入してもらうため、来場者にエコポイント導入で環境問題に関心が湧くかを調べました。また、自家発電体験を実施しテントのライトアップを実施しました。



全国ご当地うどんサミット事業総評

各委員会で企画を考え、2日間行われたうどんサミットに参加しました。観光委員会は『ガマゴオリ写真祭』、産業委員会は『三河木綿の体験』を行いました。私が参加している環境委員会では、『発電体験』と『蒲郡の理想像の寄せ書き』を行いました。保育園のお子さんを連れた家族が発電体験をされた時に、お母さんが「いつもボタンを押したら電気がつくけど、自分でつくと大変なんだねえ。電気大事にしないとね。」とお子さんに声をかけていたのがとても印象的でした。

『蒲郡の理想像の寄せ書き』で、たくさんの市民の理想を集めることが出来ました。市民の方や市外の方と直接関わることが出来、様々な思いや理想を聞くことが出来たので、今後の活動へつなげていこうと思います。

第2期蒲郡若者議会 副議長 内田愛弓

6 修了式

うどんサミットで実施した企画の検証発表を行った後、一人ずつ若者議会を半年以上やってきた感想、参加を経ての成長点、そして、これからの抱負について発表していただきました。そして、この1年間蒲郡若者議会をやり切った若者議員に対し、第2期生としての修了証書授与、お世話になったメンターやともに走り抜けた仲間とメッセージ交換を行い、今後の社会、学校で活躍する未来への新たな一歩を踏み出しました。

第二期蒲郡若者議会若者議員修了者（五十音順）

今井香澄（会社員）、内田愛弓（日本福祉大学）、小田耕平（中京大学）、川合はな（蒲郡東高校）、齋藤一稀（蒲郡東高校）、杉浦一斗（蒲郡東高校）、鈴木颯翔（三谷水産高校）、鈴木悠一郎（三谷水産高校）、田代順子（蒲郡東高校）、竹内光（蒲郡高校）、野村果林（蒲郡高校）、橋本桃那（三谷水産高校）、松本涼見（光ヶ丘女子高校）、村上凜良（刈谷高校）、毛利寿美怜（蒲郡高校）、山崎貫太（三谷水産高校）、山本麻衣（愛知教育大学）、吉見匠葵（蒲郡東高校）



蒲郡若者議会の
ホームページ
紹介

蒲郡若者議会 協賛企業・団体

JCI Junior Chamber International GAMAGORI
一般社団法人 蒲郡青年会議所

SUZUNAKA

一生涯のパートナー

第一生命

地元とともに
蒲郡信用金庫

小池商事株式会社

株式会社 錦屋

中日新聞蒲郡専売所
株式会社 鈴木新聞舗

中日新聞蒲郡専売所
株式会社 新鈴木新聞舗

act for japan
aiared

TAISEI 株式会社大成商会

NIDEK



蒲郡若者議会

GAMAGORI YOUTH

第三期生募集中

- 蒲郡市に在住・在学・在勤のいずれか
- 15歳～29歳（中学生を除く）令和5年4月1日時点
- 蒲郡市が好きな方
- 蒲郡市を好きな「まち」にしたい方

任期

2023年4月～12月まで

メリット

現場体験などで
蒲郡市のことを知ることができます

学校推薦や就職に
有利になります

真剣に自分の考えを語れるようになるなど、
若手社員教育や
若手のリーダー研修にも役立ちます。

様々な世代と話す機会があり
自分自身の成長に繋がります

応募方法

こちらの
ホームページより



●お問い合わせ先 **蒲郡若者議会運営委員会**

令和4年度蒲郡市協働モデル事業

鈴木崇之 050-3698-7227 gamawakagikai@gmail.com